

入賞

資源を守る取組み

不二聖心女子学院中学校

一年 ^{あゆかわ}鮎川 さん

私は、小学五年生の九月に自宅で四日間の断水を経験しました。この断水は、興津川の上流にある浄水場の取水口に台風によって流された流木や枝が流れ込んだことが原因で起こりました。私は、断水が起こって初めて自分の自宅で使用している水が興津川から来ていることを知りました。断水が始まった当初は、大雨の時によく起こるちよつとした停電程度ですぐに復旧するだろうと簡単に考えていましたが、ニュースで見ると取水口の状況は酷く、復旧には数週間かかるかもしれないと聞き、少しずつ不安が募っていきました。実際、飲用水は近くのマーケットに売っていたため、それほど困ることはありませんでしたが生活用水が使えないということでお風呂、歯磨き、トイレ、洗濯や食器洗いなど普段の生活ができず、断水二日目にはトイレが使えない、給食が提供できないという理由で学校が休校になり、お店も休業になるなど、断水による影響が広がっていきました。いつまで続くかわからない断水と生活用水が使えない不便な生活によるストレスがたまり始めた頃、私の自宅の水道は復旧しましたが、この経験により、水について様々なことを感じました。

まず、日々の生活でなくてはならない水が近くの興津川からの水であることを、この時まで知らなかったこと

を恥ずかしく思いました。そして、今回は四日間という期間で私の地域の水道は復旧しましたが、もしこの断水の期間がもっと長くなっていたら私の生活はどのようなになっていたろうかと考えました。また、今回断水になったのは興津川周辺の地域だけだったため、飲み水や食べ物などはお店で購入できましたし、隣接地域から支援を受けることができましたが、もしこの断水が広い地域で起こっていたらどうなっていたらどうかと怖くも感じました。きっと、畑の作物も枯れてしまうし、工場やお店も休業になり全ての生活がストップしてしまうだろうと思います。

この経験を通して、お水は私たちの暮らしに欠かせない大切な資源なのだと感じました。その限りある資源を大切にするために、普段の生活から節水を心掛ける必要があると思います、私の家では断水以降、お風呂のお湯を少なめに汲むこと、残り湯を植物への散水に使うこと、水道の水をこまめに止めることを心掛けるようになりました。

私たちの生活は、川や海からの水によって成り立っています。大切な資源である水が汚れないような工夫や取り組みも必要だと思います。たとえば、家庭から出る油をそのまま流さずきちんと処理することや、洗剤、石け

んなど使う量を適量にするよう気を付けることなどができるとよいと思います。私や私の家族が行う取り組みの一つ一つは小さなことだけれど、このような取り組みを大勢の人が行えば、大きな効果が得られると私は思います。多くの人が、水という資源の大切さに気付き、守っていく取り組みについて考え行動していくべきだと思います。